

市場価格

ドル建て ドル/TOZ

Platinum	Price	Date
Open	804.35	2020/5/18
High	866.70	2020/5/21
Low	804.35	2020/5/18
Close	844.75	2020/5/22

円建て 円/グラム

Platinum	Price	Date
Open	1904.00	2020/5/18
High	2110.00	2020/5/21
Low	1904.00	2020/5/18
Close	1973.00	2020/5/22

ドル建て ドル/TOZ

Palladium	Price	Date
Open	1885.00	2020/5/18
High	1941.77	2020/5/21
Low	1775.00	2020/5/18
Close	1875.00	2020/5/22

円建て 円/グラム

Palladium	Price	Date
Open	6544.00	2020/5/18
High	7289.00	2020/5/21
Low	6544.00	2020/5/18
Close	6816.00	2020/5/22

ニュースエクスプレス

新型コロナウイルスの感染症拡大の影響、予想よりも少ないか

WPICの最新の2020年第1四半期レポートによると、新型コロナウイルスの感染症拡大はプラチナ市場価格、及び需要供給にとってマイナス要因であることは否めないが、その相対的な影響は当初の予想よりも少なく、2020年の展望も上方修正された。

2020年第1四半期のプラチナ総需要量は前年同期と比べ、5%減少の1,649キロオンスで、総供給量は2019年の第4四半期より19%減って1,773キロオンスとなった。結果、今期の余剰は124キロオンスとなった。

インゴットとコイン投資は、3月のプラチナ価格下落を受けて買い得感が出たことから、急増して312キロオンスで、昨年の四半期平均の70キロオンスより300%以上の増加となった。

中国の需要は今期始めに減少したが、新型コロナ感染症とは無関係の南アフリカの製錬所の事故と、感染症拡大阻止のために鉱山が閉鎖されたことで今期のプラチナ供給量は大幅に縮小する結果となった。

2020年の新たな余剰予測量は247キロオンスで、新型コロナ感染症の拡大の影響にもかかわらず、前回の予測よりも128キロオンス多くなった。2020年の需要は昨年よりも18%少なくなる予測で、主に自動車需要と宝飾品販売の伸びが見込めないことと、投資需要の減少による。供給は、製錬所の事故と感染症関連の鉱山閉鎖で前年同期比13%マイナスとなる予測。

(ソース: https://platinuminvestment.com/files/186857/WPIC_Platinum_Quarterly_Q1_2020.pdf)

プラチナとパラジウムの展望

先日公表されたメタルズフォーカス社の「Platinum and Palladium Focus 2020」によると、新型コロナ感染症拡大阻止のためのロックダウンとその他の制約により、2020年のプラチナ供給予測は前年比13%減少して110万オンス。需要は7%の減少するとされ、およそ50万オンス。今年は自動車のプラチナ需要は14%、宝飾品需要は15%、それぞれ減少の予想だが、現物投資とガラス需要がマイナス分を補うという。

また、プラチナ市場価格は、ゴールド価格の上昇に便乗してこの先、上昇するが、余剰が続くことを受けて2020年の平均価格は依然、11%低い米ドル765/オンスという予測。

パラジウムに関しては今期後半も強気の予測。現物需要が回復して品不足が再び顕在化すれば、2月についた過去最高値レベル近くまで再び上昇し、前年比48%の平均米ドル2,275/オンスとなるだろう。

(ソース: <https://resourceworld.com/platinum-and-palladium-outlook/>)

プラチナ価格、2ヶ月ぶりの高値

プラチナ価格は17年ぶりの安値となった米ドル621/トロイオンスから、5月19日に2ヶ月ぶりの高値、米ドル830/トロイオンスをつけた。これはプラチナの安値が特に中国で備蓄増加を目的とした購買意欲をそそったとみられる。3月の価格を最後に下回ったのは米ドル608/トロイオンスをつけた2003年の5月6日。

パラジウム価格は、ジョンソンマッセ社データによると、2月終わりに数年来の高値、米ドル2,805/トロイオンスをつけたが、3月終わりには6ヶ月ぶりの安値米ドル1,612/トロイオンスまで下落。その後5月19日には米ドル2,060/トロイオンスまで上がった。

南アフリカなどが新型コロナウイルスの感染症拡大を阻止するために一時的に鉱山閉鎖をしたことと、リサイクル回収の流れが中断されたことで供給に影響を受け、価格を押し上げる結果となった。

(ソース: <https://www.argusmedia.com/ja/news/2107182-platinum-prices-rise-to-twomonth-high>)

コロナ感染症の混乱の中、アフリカ象のプラチナコインの需要急伸

新型コロナウイルスの感染症拡大による経済の混乱を回避したい投資家からは、アフリカの野生動物をレリーフにしたプラチナコインの購入に走っている。

プレステージ・ブリオンによると3月に鋳造されたばかりの象をかたどったプラチナコインは米国やアジアの投資家によっては、2,000枚以上も買われた。南アフリカのロックダウン措置が終われば生産量を増やす予定で、6ヶ月おきにアフリカのビッグファイブの動物たち、ライオン、サイ、ヒョウ、バッファローがレリーフされたコインが順次発行される。プレステージ・ブリオンは100キロオンスと言われる世界のプラチナコイン市場の20%のシェアを目指している。コロナ感染症拡大で混乱する市場を背景として、3月と4月の品薄で需要が急増したことでプラチナコインのプレミアムは拡大したと、WPICのリサーチディレクターTrevor Raymond氏は語る。

(ソース: <https://www.bloomberg.com/news/articles/2020-05-20/investors-shelter-from-virus-turmoil-in-elephant-platinum-coins>)

WPIC直近の活動

- ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシル (WPIC) は本日、2020年第1四半期の『Platinum Quarterly』を発行しました。詳しくは

https://platinuminvestment.com/files/186857/WPIC_PR_PQ_Q1_2020_20200518_JA.pdf

- WPICのオフィシャルFacebookとTwitterアカウントを開設されました。下記QRコードでフォローのほど、何卒よろしくお願いたします。



(@wpicjapan)